

動物実験に関する自己点検・評価報告書

山形大学

2022年12月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検の対象とした資料 山形大学動物実験規程 山形大学動物実験規程の施行に伴う運用上の取扱いについて 山形大学動物実験規程第 4 2 条に該当する適用除外の範囲について
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学動物実験規程 ・山形大学動物実験規程の施行に伴う運用上の取扱いについて ・山形大学動物実験規程第 4 2 条に該当する適用除外の範囲について ・山形大学動物実験委員会の運営上の取扱いについて ・山形大学動物実験委員会名簿 ・令和 3 年度山形大学動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 文科省の基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。また、実験動物の飼養保管基準に則した動物実験委員会の機能を有している。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学動物実験規程 ・山形大学動物実験規程の施行に伴う運用上の取扱いについて ・山形大学動物実験委員会の運営上の取扱いについて ・動物実験計画書（令和3年度） ・動物実験結果報告書（令和3年度） ・動物実験（終了・中止）報告書（令和3年度） ・計画書等の様式（別記様式1～9） ・計画書等の記入例（別記様式1～8） ・動物実験計画書 審査の流れ
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>文科省の基本指針に則して、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学動物実験規程 ・山形大学動物実験の手引き ○遺伝子組換え動物を用いる実験に関しては <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学遺伝子組換え実験安全管理規程（及び、同規程の運用に関する取扱いについて） ・山形大学遺伝子組換え実験安全管理規程の運用に関する取扱いについて ○病原体の感染実験に関しては <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学研究用微生物等安全管理規程 ○有害化学物質の投与実験に関しては

<ul style="list-style-type: none"> ・化学発癌物質・有害性重金属の危険物質を用いた動物実験に関する取扱要項 ・山形大学毒物及び劇物取扱規程 <p>○放射線照射実験に関しては</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学放射性同位元素実験室放射線障害予防規程 ・山形大学医学部メディカルサイエンス推進研究所動物実験センター教育研究用エックス線障害防止規程
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程が定められ、実施体制が整備されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形大学動物実験規程 ・動物実験飼養保管施設一覧 ・実験動物飼養状況報告書（令和3年度） ・別記様式5 飼養施設（設置・変更）承認申請書 ・別記様式6 動物実験室（設置・変更）承認申請書 ・別記様式7 飼養施設・動物実験室廃止申請書 ・飼養施設調査チェックシート，実験室チェックシート
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>山形大学動物実験規程に基づき、飼養保管施設及び動物実験室が設置されている。各飼養保管施設には管理者及び実験動物管理者が置かれ、部局の長による管理体制がとられている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

<p>特になし。</p>

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験委員会名簿 (R3 年度) ・動物実験委員会議事録 ・飼養保管施設・動物実験室の設置・変更承認申請書 ・動物実験委員会の開催記録 <p>会議開催： 1 回 (令和 4 年 3 月 7 日 ; テレビ会議)</p> <p>書面会議： 19 回 (随時に持ち回り委員会を開催)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>山形大学動物実験規程に基づき適正な委員会活動を実施している。</p> <p>令和 3 年度には定例の動物実験委員会を 1 回及びメールによる委員会を 19 回開催し、動物実験計画の審査、実験結果報告の確認、教育訓練の実施、自己点検・評価等について審議した。また、随時、メールでの審議、情報の共有を図り、委員会の活動が適切に実施された。委員会に提出される前の計画書は、各学部の部局の長が動物実験主任者に予備審査を行わせ、2 重のチェック機構を実施している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験計画書 (R3 年度) ・動物実験者追加申請書 (R3 年度) ・動物実験(終了・中止)報告書 (R3 年度) ・動物実験結果報告書 (R3 年度) ・動物実験計画書の審査状況書類等 (R3 年度)
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>動物実験計画の立案、審査、承認、実施結果の把握と必要な改善指導が文科省の基本指針に則し</p>

て実施されている。令和 3 年度には 179 件の動物実験計画が承認され、179 件の結果報告書が提出された。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・動物実験結果報告書 ・実験動物飼養状況報告書 ・令和 3 年度特殊実験区分（感染実験、遺伝子組換え生物等使用実験、放射線同位元素・放射線使用実験、化学発癌・重金属実験）ごとの動物実験計画の一覧表
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） <p>令和 3 年度には、感染実験 3 件、遺伝子組換え生物等使用実験 76 件、放射線同位元素・放射線使用実験 11 件、化学発癌・重金属実験 0 件が実施された。</p> <p>これらは関連法令や学内規程によって実施され、事故など安全管理上の問題は生じていない。</p> <p>また、飼養状況報告書や動物実験報告書より、実験動物の飼養保管並びに動物実験実施上において事故は生じていない。</p>
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・飼養施設調査チェックシート ・実験動物飼養状況報告書（R3 年度） ・飼養施設における微生物モニタリングの実施について（依頼）（形大研究第 1062 号） ・飼養保管マニュアル等 ・相互検証プログラムによる外部検証結果報告書

<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請のあった飼養施設については、チェックシートに基づき現場を確認した上で、承認しており、各部局では、飼養保管マニュアル等を作成して実施している。 ・一部の飼養施設においては、繁殖を行っているマウス、ラットの微生物モニタリングが行われていない旨、相互検証プログラムによる外部検証結果報告書において指摘があったが、実施されていない部局がある。 ・全学16の実験動物飼養保管施設のうち、13の施設で動物の飼養保管が行われた。重大な感染症の発生や動物の逸走等は無かった。しかし、マウス、ラットの繁殖を行っている一部の飼養保管施設においては、微生物モニタリングが実施されていないことが判明したため、早急に実施するよう学長名で対象施設に通知した。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マウス、ラットの繁殖を行っている飼養保管施設においては、2022年度までに微生物モニタリングを実施する。

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験動物飼養状況報告書 ・飼養施設調査チェックシート ・実験室調査チェックシート ・相互検証プログラムによる外部検証結果報告書 ・実験動物飼養保管施設一覧表 ・動物実験室一覧
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼養施設及び実験室の入口付近に室名の掲示を行い、承認されている飼養施設、及び実験室であることを明確に表示している。 ・平成25年度に受検した相互検証プログラムによる外部検証結果報告書において、老朽化が指摘されていた動物実験センターについては令和4年3月に竣工し、規程に基づく飼養施設としての確認が完了した。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>飼養保管施設及び動物実験室は、設置時の状態は確認しているが、その後の状態については調査されていないため、定期的な調査または報告書様式による自己申請などにより施設等の現状を定期的に調査する検討が必要である。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・山形大学における教育訓練実施状況（令和3年度）</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>実験動物管理者、動物実験者、飼養者等に対する教育訓練を適正に実施し、令和3年度の受講者は189名であった。</p> <p>教育訓練受講希望に基づき、各キャンパスにおいて教育訓練を実施している。</p> <p>また、コロナ禍において対面で受講できない場合は、e-ラーニングを用いた教育訓練を実施しており、受講者に対しては確認テストを実施している。</p> <p>なお、実験計画書の作成の際に必要な受講者登録番号（ID 番号）は、教育訓練を受講した者に対してのみ付与している。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・自己点検評価報告書（平成20年度～令和2年度）</p> <p>・相互検証プログラムによる外部検証結果報告書（平成25年度）</p> <p>・山形大学ホームページ</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>自己点検・評価を適正に実施し、平成20年度分以降の報告書（相互検証プログラムによる外部検証結果報告書を含む）を外部に対して公開している。</p> <p>本報告書も速やかに情報公開する予定である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>特になし。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

1) 山形大学動物実験委員会の構成

山形大学動物実験規程

第 11 条第 1 号に掲げる委員：研究担当理事（副学長） 1 名

第 11 号第 2 号に掲げる委員：医学部メディカルサイエンス推進研究所
動物実験センター長 1 名

第 11 号第 3 号に掲げる委員：医学部メディカルサイエンス推進研究所
動物実験センター主任 1 名

第 11 号第 4 号に掲げる委員：5 名（5 学部から各 1 名）

第 11 号第 5 号に掲げる委員：1 名

2) 令和 3 年度の山形大学における動物実験計画書の審査状況（別紙 1）

3) 令和 3 年度の山形大学における飼養保管施設ごとの飼養保管数（別紙 2）

4) 動物実験に係る教育訓練受講登録者数（別紙 3）

5) 今後の検討事項

特になし。